

9 課「アルバイト先で」

<行動目標>

集団の中で気持ちよく仕事ができるように、周りの人のことを考えながら、会話することができる。

<2つのスモールトピック>

ST1 「アルバイト先のルール」

先輩からアルバイト先のルールを聞いたり、後輩に説明したりすることができる。

ST2 「楽しいアルバイト」

スムーズに仕事ができるように、お互いに声をかけ合うことができる。

話してみよう

『できる日本語初中級』の9課のテーマは「アルバイト先で」です。日本に来て、生活にも慣れて、アルバイトを始めている留学生も多いと思います。アルバイト先ではいろいろなことを経験していることでしょう。周りの人と気持ちよく一緒に働くためには、周りの人のことも考えられたら、きっといいコミュニケーションが生まれることと思います。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。初中級では2枚のイラストと1枚の写真になっています。どのイラスト、写真を使うかは学習者に合わせて選んでください。全部使う必要はありません。『できる日本語 初中級教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』のp.59にそれぞれの写真やイラストを用いた場合の質問例があるので、参考にしてみてください。イラストを見ながら、同じような状況に遭遇したことがあるかなどを聞いてみてください。イラストから過去の経験を思い出す学習者がいると思うので、イラストをきっかけに学習者の経験を引き出して、話を聞いてみてください。きっといろいろな話が聞けます。

【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、学習者の興味が引き寄せられていたら、CDを聞くときには、学習者は聞くことに集中できると思います。既習の学習項目や語彙が増えていることや効果音が使われていることから、どんな状況かがつかめると思います。

ST1 アルバイト先のルール

できること：先輩からアルバイト先のルールを聞いたり、後輩に説明したりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：パクさんがアルバイトをしている店に新しいアルバイトの人が入りました。今、店長はパクさんにその新しいアルバイトの人を紹介しています。



1



コマイラスト：店長はパクさんに店のルールを新しいアルバイトのチンさんに教えるように言いました。パクさんはチンさんにお店に来る時間とタイムカードを押すことを言っています。この店では、20分前までに来ること、出勤時にはタイムカードを押すことが決められています。

パクさんのアルバイト先で新しいアルバイトの人が入ってきました。【チャレンジ！】の際には、先輩になったパクさんがお店のルールを紹介しているという状況を押さえてください。学習項目は2枚目のコマイラストにあります。「アルバイトが始まる20分前までに、お店に来てください。来たらタイムカードを押してください」などと学習者がチャレンジすると思います。CDを聞く前に、1枚目のコマイラストを再度見てもらい、今パクさんは何を紹介しているか確認してください。「ルール」ということに注目して、何と言ったらもっとよくなるかCDを聞いてもらってください。ここでは「タイムカードを押す」は初出ですが、アルバイトをしている人にはお馴染みかもしれません。

学習項目 Vる/Vないことになっています (規則)

言ってみよう 別冊1

新出の語彙を確認しながら、練習を進めてください。学習者に合わせて、キューの出し方を工夫すると思います。例えば、アルバイト経験者や国での仕事の経験者にどんなルールがあるか言ってもらい、それを「～ことになっています」の形で全員でコーラスをするという練習もできます。アルバイト先の様子を学習者に問いかけながら（例：〇〇さんのアルバイト先ではいつまでにアルバイトのシフトの希望を出しますか、アルバイトのお店で制服を着ますか）、別冊の新出語彙を確認していくと思います。また、アルバイト先だけではなく、学校や家庭にどんなルールがあるかを聞いてみるのもいいですね。

言ってみよう 本冊1

例を見る前に、もう一度、【チャレンジ！】のコミラストを見て、どんな場面かを確認しましょう。Aの「Vたらいいですか」は初中級4課で既出の文型です。分からないことがあるとき、相手にアドバイスが求める状況で使えると思います。

キューが文字で出されているので、練習のときには「読むだけ」にならないように、意味を考えながら、質問している相手が分かるように言えるといいですね。

チャレンジ！



コミラスト：パクさんがルールの説明を続けています。チンさんが髪について質問をすると、パクさんは帽子を見せて、仕事をするときにはかぶることを話しています。

【チャレンジ！】の際、1枚目のイラストを見て、**1**で習ったことを使って「制服を着ることになっています」という学習者がいたら、ぜひ褒めてあげてください。スクリプトではパクさんが「それから、この制服を着てください」と言っていますが、これと同じでなくても場面に合っていたら大丈夫です。2枚目のコミラストでは、「調理場で帽子をかぶる」という声が出てきたら、教師が「どうして？」というように聞きながら、コミラストの料理の部分の指しながら聞いていってください。

学習項目 Vるように、～

Vないように、～

言ってみよう 別冊②

①～④までは、「Vるように」、⑤～⑨は「Vないように」の練習です。この「ように」の前で用いられる動詞は無意志動詞です。どんな動詞が無意志動詞になるのか、キューを見ながら、紹介していくといいと思います。キューの練習の他にも、前件と後件をつなげる練習や、前件の文を見て、後件を考えてみる練習などもできると思います。

また、『わたしの文法ノート 初中級』のp.76の2番には「ように」の前に用いる動詞を選ぶ問題があります。クラスで一緒に見ながら、確認ができると思います。「～ために」と「～ように」の違いを、別冊か本冊【言ってみよう】のあとなどに学習者から質問があったタイミングや授業の進度のタイミングを見て伝えられるといいと思います。

こんなふうに

授業でこのようなプリントを作成して、学習者と一緒に見てみました。

<p>～ために (L3)</p> <p>辞書形(無意志動詞) 名詞 + の } ために</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の会社を作るために、経営を勉強するつもりです。 デザイナーになる勉強をするために、日本へ来ました。 大学に入るために、日本語を勉強しています。 進学するために、貯金しています。 	<p>～ように (L9)</p> <p>辞書形(無意志の動詞) 知る、晴れる、書く、間に合う、届くなど 可能動詞 わかる、見える、聞こえる } ように</p> <p>ナイ形</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学に入れるように、日本語を勉強しています。 進学できるように、貯金しています。 白板の字が見えるように、前に座ります。 みんなに聞こえるように、大きい声で話してください。 料理に髪の毛が入らないように、アルバイトのときは帽子をかぶることにしています。 箸で食べられるように、肉を小さく切っておいてください。 忘れないように、メモしておきます。 約束の時間に遅れないように、少し早く家を出ます。 友達の病気が早く治るように、みんなで祈ります。 明日晴れるように、「てるてる坊主」を作ります。 約束の時間に間に合うように、家を出ます。 	<p>1 どちらがいい?!</p> <p>① 気分が悪くならない [ために ・ ように]、バスに乗る前に薬を飲んでおきます。</p> <p>② 将来、自分の店を持つ [ために ・ ように]、一生懸命勉強しています。</p> <p>③ よく聞こえる [ために ・ ように]、大きい声で話します。</p> <p>④ 友達の結婚式に参加する [ために ・ ように]、休みを取りました。</p> <p>⑤ 友達に会う約束を忘れない [ために ・ ように]、メモしておきます。</p> <p>⑥ 日本語の勉強の [ために ・ ように]、辞書を買うつもりです。</p> <p>2 どちらがいい?!</p> <p>① わからない言葉があったら、すぐ [調べる ・ 調べられる] ように、辞書を持って歩いています。</p> <p>② 明日の朝、早く [起きる ・ 起きられる] ために、今晩は早く寝ます。</p> <p>③ 大学に [入る ・ 入れる] ように、毎日勉強しています。</p> <p>④ おもしろい物を見たら、すぐ写真が [撮る ・ 撮れる] ように、毎日持っています。</p> <p>⑤ 大学で経済を [勉強する ・ 勉強できる] ために、日本へ留学にきました。</p>
---	---	---

言ってみよう 本冊 ②

言ってみよう①, 言ってみよう②はAが新人、Bが教える人ということを最初に学習

者と確認をしてください。そうすれば、あとはインフォメーションギャップで、質問と答えという形で練習することもできます。

チャレンジ!

3-1



コマイラスト：パクさんはシフトのことに、チンさんに説明しています。チンさんはその説明を聞いて、質問をしています。

「シフト」は新出語彙なので、【チャレンジ!】をするとき、紹介をしてください。中には知っている学習者もいると思うので、知っている人がいたら、その人に紹介してもらいたいのです。【チャレンジ!】の際に、学習者は「3 日前までに店長に言います、アルバイトの日を変えてもらうことができます」(この日本語も悪くはないのですが、ここまでのレベルとしては複文で話せようになっているほしいので、【チャレンジ!】では、教師は学習者に複文で話すように促してください) とか「3 日前までに店長に言ったら、アルバイトの日を変えてもらうことができます」、「3 日前までに店長に言うのと、アルバイトの日を変えてもらうことができます」などとチャレンジすると思います。

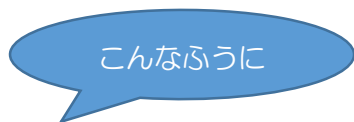
「～と」「～たら」「～ば」の違いや使い分けについては、【言ってみよう】が終わったあともしくは、【やってみよう】のあとなど ST1 が終わったときなど、学習者に合わせたタイミングでしてください。「ば」の意味をしっかりと確認してから、文法ノート p78 の 7 番をするといいです。

学習項目 条件形

言ってみよう

別冊 3

練習 1 は条件形の形の練習です。教科書 p.229 に表がありますが、形の練習ができるプリントがあるといっています。練習 2 では動詞、練習 3 では形容詞と名詞を練習します。



このような表を作成して使っているのですが、教室内ではこれを見ながら、口頭だけをして
 います。書くのは宿題にして、家で活用を確認するようにしています。

第9課ST1 じょうけんけい 条件形			
動詞 1グループ	いきます	行けば	行かなければ
	会います		
	聞きます		
	働きます		
	急ぎます		
	押します		
	待ちます		
	呼びます		
	飲みます		
	あります		
	なります		
	わかります		
	覚えます		
	食べます		
寝ます			
2	見ます		
	できます		
	います		
3	します		
	来ます		
	高い	高ければ	高くなければ
イ 形 形容詞	少ない		
	暑い		
	いい		
	必要	必要なら	必要じゃなければ
ナ 形 形容詞・名詞	暇		
	簡単		
	風邪		
	天気		

言ってみよう 本冊3-1

ここでは相手の質問に対して、条件形を用いて答えています。

チャレンジ！



コマイラスト：チンさんへの説明が一通り終わりました。パクさんはチンさんにわからない
 ことがあったら、いつでも質問するようにとっています。

学習項目 条件形

言ってみよう 本冊3-2

新しいアルバイトの人が仕事を始めるとき、いろいろな状況に遭遇することが考えられます。相手の心配を少なくできるような配慮ができるといいと思います。

こんなふうに

練習のあとに、このようなプリントを作成して、意味の確認をしています。

と・ば・たら←

←

◆ ~と ←

意味) ① いつも、～なります/～します←

例文) ←

- 1、このボタンを押すと、おつりが出ます。←
- 2、このボタンを押すと、音が大きくなります。←
- 3、こたつに入ると、体が暖かくなります。←
- 4、最後に砂糖を入れると、おいしくなりますよ。←
- 5、次の交差点を右に曲がると、銀行があります。←
- 6、わたしはお酒を飲むと、いつも頭が痛くなります。←
- 7、わたしの兄は冬になると、毎年スキーに行きます。←

←

* 「～たいです」「～ませんか」「～ましょう」「～してください」「～ようと思っています」などと←

一緒に使うことができません。←

←

(×) 週末、晴れると、公園でサッカーをしませんか。 → ←

(×) 大学を卒業すると、日本で仕事をしたいです。 → ←

←

* 一回だけのことには使うことができません。←

(×) 今年、わたしは夏休みになると海へ行きます。 ←

←

◆ ～たら ←

- 意味) ① もし～たら ←
② ～した後で ←
③ アドバイスをください! ←
④ 発見 ←

例文) ←

- 1 雨が降たら、試合はありません。 ←
 - 2 時間があたら、カラオケに行きたいです。 ←
 - 3 お金がたくさんあたら、車 がほしいです。 ←
 - 4 宝くじに当たら、世界一周旅行に行きたいです。 ←
 - 5 天気がよかたら、バーベキューをしましょう。 ←
 - 6 週末、暇だたら、いっしょに映画を見に行きませんか。 ←
 - 7 授業が終わたら、お酒を飲みに行きましょう。 ←
 - 8 お酒を飲んだら、車の運転をしてはいけません。 ←
 - 9 空港へ着いたら、連絡してください。迎えに行きますよ。 ←
 - 10 このイベントに参加したいんですが、どこで申し込んだらいいですか。 ←
 - 11 朝、起きたら、10時でした。 ←
 - 12 かばんの中を見たら、財布がなくなっていました。 ←
- ←
←
- * 「～たら、…」の「…」には、いろいろな文を使うことができます。 ←

暖かくなたら、花見に ← { 行きます。 ←
行きましょう。 ←
行きませんか。 ←
行ったほうがいいですよ。 ←
連れて行ってください。 ←

←

◆ ～ば ←

意味) ① 「～たら」の①と同じ ←

② 「～と」と同じ ←

←

例文) ←

1 安ければ、買いたいです。 ←

2 時間があれば、遊びに来てください。 ←

3 A：何か飲みますか。 B：そうですね。ビールがあれば、飲みたいです。 ←

3 父はわたしの顔を見れば、いつも「勉強しろ！」と言います。 ←

4 春が来れば、桜が咲きます。 ←

←

←

←

* 「～た後で」の意味のときは使うことができません。 ←

←

(×) 授業が終われば、お酒を飲みに行きましょう。 → ←

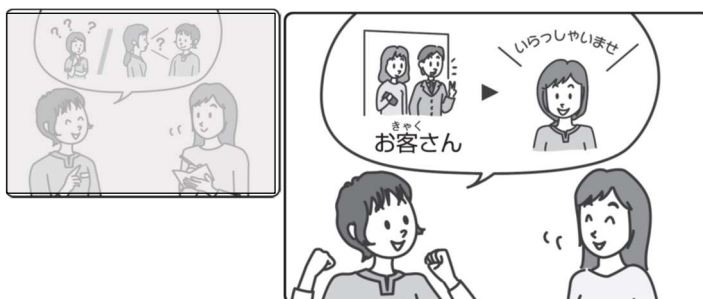
(×) 駅に着けば、電話をください。迎えに行きます。 → ←

(×) この本を読めば、次にこの本を読みます。 → ←

←

チャレンジ!

4



コマイラスト：仕事の説明も一通り終わり、最後に、お客さんが来たときの挨拶について話しています。このお店では、お客さんが来たときに、大きい声で挨拶をすることになっているので、パクさんはチンさんにそのことを話しています。

新しいアルバイトの人に説明をしているパクさんは、最後に店の挨拶についてチンさんに説明をしています。【チャレンジ!】をするとき、学習者が「お客さんが来たら、大きい声でいらっしゃいませ」と言ってください、「大きい声であいさつしてください」「大きい声であいさつすることになっています」などと言ってくれたら、それもいいですねと褒めて、CDを聞いてください。教師から「いつも大きい声で言うことができますか」と問いかけてみてください。それから、CDを聞くと、この「～ようにしてください」（「注意する」、「できるだけ努力する」）にフォーカスしやすくなります。CDを聞いたら、板書して「～してください」ではなく「～ようにしてください」だと確認してから、意味の違いもわかるようにやり取りしてください。

『わたしの文法ノート初中級』の11課「ポイントチェック」の⑫番に、「どうぞケーキを[食べてください・食べるようにしてください]」があります。これは、がんばってできるだけ食べてくださいの意味ではないので、シンプルに「食べてください」を選択する問題です。「できるだけ全部食べるようにしてください」は、例えば、病気の人やお年寄りを看病、看護している人が言う場面で使えます。

学習項目 Vるようにしてください
Vないようにしてください

言ってみよう

別冊4

ここでは、飲食店などのアルバイト先でよく使われる例文になっていますが、それ以外の場面で使われる例文でも練習するようにしています。①～⑤はVるようにしてください、⑥～⑧はVないようにしてくださいの練習です。一通りの練習が終わったら、他の場所でどんな「～ようにしてください」が使われるかを考えるのもいいと思います。

言ってみよう

本冊4

言ってみよう 4 では、新しく一緒に仕事をする人に、いろいろな注意事項を説明しています。実際に A さんにも B さんにもなる可能性がありますね。そんなリアルな場面を想像しながら練習すると楽しくなると思います。

やってみよう

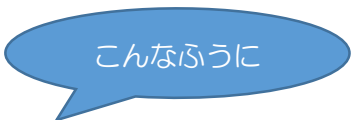
ST1 の「できること」は、「先輩からアルバイト先のルールを聞いたり、後輩に説明したりすることができる」です。



少し長いやり取りになっています。CD を聞く前に「まずは最初から最後まで聞いてみましょう」と学習者に声をかけてから、止めないで聞いてみましょう。また、学習者に合わせて、教科書の a~f のイラストが何を表しているのかを確認してから聞くのもいいと思います。答え合わせをするとき、ただ答えを確認するだけではなく、どうしてその答えにたどり着いたか確認してください。このあと実際に自分たちで会話をするために何と言っているかしっかり確認するために、問題以外の部分にも触れてください。会話の最後の部分で、レイさんはマニュアルをどこで読みたいと思ったか、マルコさんがレイさんにどんな声がけをしていたかなども聞くと、学習者がタスクで使いやすくなると思います。

■ ペアでロールプレイをします。A の役割は、後輩に店のルールを説明するとなっているのですが、学習者の中にはアルバイトの経験がなく、すぐには何を話したらいいか、とまどう学習者もいるかもしれません。教科書の内容を参考にしてもいいし、教師が簡単なアルバイトのマニュアルみたいなものを作成してもいいと思います。ロールプレイをする前に、設定を準備したり確認する時間を取るといいと思います。

教室にアルバイトをしている学生たちが数名でもいれば、その学生たちからどんな店で、どんなルールがあるかを聞いて、全体で情報を共有してから、ロールプレイをペアで始めるということもできます。



ロールプレイをする際、このシートは一人ずつ配布し、それぞれに書いてもらっています。
(ペアで1枚ではなく)これはロールプレイをする際、AとBの役をそれぞれができるようにするためです。

第9課ST1 やってみよう←

←

←

ここはどんな店／オフィスですか。←

例) コンビニ、レストラン、会社…←

←

←

←

←

どんなルールがありますか。←

• _____ ←

• _____ ←

• _____ ←

• _____ ←

• _____ ←

ST2 楽しいアルバイト

できること：スムーズに仕事ができるように、お互いに声をかけ合うことができる。

チャレンジ！

状況イラスト：

パクさんはアルバイト先で忙しく働いています。



コマイラスト：パクさんはお店に来たお客さんに人数を聞いています。お客さんは4人と答えたので、パクさんはホールの様子を確認します。そのため、お客さんに入口の近くのソファで待つように言っています。

【チャレンジ！】で会話を再現した後で、CDを聞く前に、もう一度、パクさんが誰と話しているのか、ということに注目してから聞くと、違いが捉えやすいと思います。CDを聞いたあとで、レストランなどで聞いたことを思い出す学習者もいるかもしれません。

【チャレンジ！】内には最近学習した項目が繰り返し出てきます。ここでは「すぐご案内します」と、L7で学習した謙譲の「お/ごVします」が出てきています。チャレンジが終わって、学習項目の導入ができたあとで、確認するといいです。

学習項目 おVまずください / ごNください

言ってみよう 別冊1

練習1の⑤と⑥は名詞+する動詞なので、「ごNください」になることに注意してください。また、「ごNください」に用いられる名詞は、すべて使えるというわけではなく、名詞+するで使われる名詞に限られることにも注意を促してください。

練習2は、イラストを見ながらの練習です。ここでは、学習項目（おVまずください / ごNください）を用いる際に、丁寧な表現が一緒に用いられることを学習者と確認をしてください。例) ①「ご自由に」②、④「こちら・あちら」⑤「決まりましたら（決まったら）」

⑥「滑りますので（滑るので）」

言ってみよう 本冊1

例では A と B の 1 ターンのやり取りですが、全体で何と言ったらいいか確認したあとペアで練習をします。学習者に合わせて、この前後を考えてみるのもいい練習になります。

こんなふうに

ペア練習をするときに、繋げて練習してみました。

A：いらっしゃいませ。こんにちは。何名様ですか。

B：2 人です。

A：こちらにお名前をお書きになって、少々お待ちください。

A：〇〇様。

A：こちらへどうぞ。

A：どうぞこちらにおかけください。

B：はい、ありがとうございます。

A：こちら、メニューです。ご注文が決まりましたら、お呼びください。

B：はい。

B：すみません。注文をお願いします。

A：はい！少々お待ちください。

B：すみません。トイレはどこですか。

A：あちらです。どうぞご利用ください。

学生たちはとても楽しそうに練習をしていました。中には「お書きになって、お待ちください」のように繋げた表現もクラスによってはいい復習になりました。

チャレンジ！



コマイラスト：チンさんが今、お皿を洗っています。カウンターに置いたお皿が落ちそうなのを見て、パクさんがチンさんに声をかけています。

ここでの学習項目は「V そうです」（直前の様態）です。ST2 のできることは、「スムーズに仕事ができるようにお互いに声をかけ合うことができる」ですが、ここでも仕事がスムーズに行くように、パクさんはチンさんにお皿が落ちそうだと声をかけて、安全なお皿を場所に置こうと伝えています。【チャレンジ！】をする際には、学習項目が含まれている箇所だけで終わり！としないで、ぜひコマイラストに現されている流れを学習者と一緒に見てほしいと思います。

学習項目 V そうです（直前の様態）

言ってみよう 別冊 2

「モップ、袋、ひも、ガソリン、破れる、切れる、焦げる」など新出語彙が多いです。例) ~⑥の拡大イラストを見て、新出語彙を確認しながら、単文の口頭練習をするようにしてください。その状況で使われる名詞と動詞がセットで覚えられるといいと思います。

言ってみよう 本冊 2

仕事の場面で危険な状態になりそうな状況で、そのことに先に気がついた A さんが B さんに声をかけて知らせているやり取りです。A に言われた B の「あっ！」は驚きの意味があるので、練習の際もその気持ちが表せられるといいですね。

チャレンジ！



コマイラスト：チンさんがホールの様子を見て、ロハンさんに冷蔵庫からビールを出そうかと声をかけていますが、ロハンさんはまだ入れておくようにと言っています。

自分から進んで何かをしようとするときに使う、申し出の「Vましょうか」（初級第 7 課）がここでも使われています。思い出して使えるといいですね。

学習項目 Vておきます（放置）

言ってみよう 別冊 ③

キューが文字で示されていますが、学習者に合わせて、イラストを用意して練習をするのもいいと思います。

言ってみよう 本冊 ③

解答例にはBの2つの答えが書かれていますが、どちらを言うかは学習者次第です。Bのシェフになった気持ちで選んでもらってください。

チャレンジ！

状況イラスト：

ホールでは、同僚のロハンさん、新しく入ったチンさんも一緒に働いています。



コマイラスト：今、お店はお客さんが少なくなったので、ロハンさんがパクさんに昼ご飯を食べようと声をかけています。

誘う表現は今までも何度も出てきました。「一緒に昼ご飯を食べませんか」「いいですね。食べましょう」と学習者がチャレンジしたら、ロハンさんとパクさんの関係に注目してもらってください。同僚だということに注目してもらい、CDを聞くと学習者が自分で発見しやすくなります。

学習項目 ~ (よ) う

言ってみよう

別冊 4

「~ましょう」の友達言葉、「~ (よ) う」は意向形と同じです。意向形は初中級3課で既習です。練習をする前に、もう一度、意向形の確認などをしてからすると思います。

チャレンジ！

5



コマイラスト：ロハンさんは、チンさんに声をかけました。チンさんはまだ洗わなければならないお皿があるので、二人に先に食べるように言っています。

【チャレンジ！】5は4の続きになっています。5をするときに、4から始めると流れがわかりやすくなります。

学習者がイラストを見て、日本語が出てこないということがあったら、教師のほうから、次の言葉が言いやすくなるような言葉を言うと発話しやすくなります。例えば、ロハンさんの吹き出し（左の吹き出し）を指さしたとき、学習者から何も出てこなかったら、「チンさんも...」と言ったら、学習者たちから「チンさんも一緒に食べませんか」と出てきやすくなります。チンさんの吹き出し（右の吹き出し）を指さしたときも、学習者が戸惑っていたら、教師が「お皿が汚いですから...」とか「今からお皿を...」などと言うと、学習者から「今からお皿を洗います」とか「お皿を洗わなければなりません」と出てきます。そこまで出たら、「いいですね」と褒めつつ、「そうですね。チンさんはまだ仕事がありますね。その仕事を最後までしたいです」と言って、CDを聞くといいです。

学習項目 Vてしまいます (完了)

言ってみよう

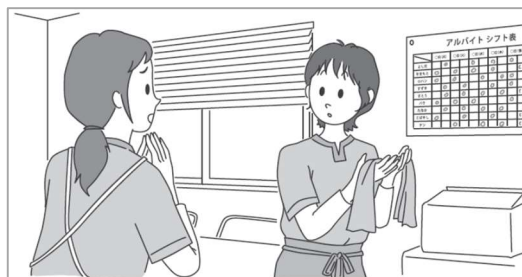
本冊 4 5

【言ってみよう】に入る前に、【チャレンジ】4, 5に戻ってみてください。そのとき、ロハンさん、パクさん、チンさんの話し方に注目してもらってどうして話し方が違うか学習者に問いかけてください。【言ってみよう】4, 5のA,B,Cも同じ関係性であることに気がついてもらってください。

チャレンジ！

状況イラスト：

お店の休憩室で、チンさんとパクさんが話しています。チンさんは何かお願いごとがあるようです。



コマイラスト：チンさんはパクさんに来週の木曜日のシフトを変わってほしいと頼んでいます。しかし、あいにく来週の木曜日は国からパクさんの家族が来る予定になっているので、アルバイトを代るできません。

チンさんがパクさんをお願いをしていますが、そのとき「～てもらえませんか」を使っています。「～てもらえませんか」は初中級2課で出てきた学習項目です。学習者が「代わってください」と言ったら、教師は「それもいいですが...」と言って、学習者が他の表現を思いつけるように促してください。

パクさんの吹き出しを学習者が言いやすいように順番に指さしてください。学習者は「木曜日、国から家族が日本へ来ます」などと言うと思います。教師は「そうですね。来週の木曜日、パクさんの家族が日本へ来ますね。来る予定です」と言ってから、パクさんの吹き出しに注目してCDを聞くように促してください。

CDを聞いたらキーセンテンスを板書して、「～ことになっています」の意味と接続の確認をします。意味も教師のほうから説明するのではなく、「今日の学習項目は「～ことになっています」です。「～ことになっています」はどういう意味ですか」というふうに、学習者に問いかける形で意味の確認をしてください。ST1でも「Vることになっています」が提出

されていますが、それとは意味が異なるので、注意が必要です。初中級も後半になってきているので、学習者も慣れてきているとは思いますが、それぞれ持っている文型の意味が異なることがあることに注意を向けてください。『わたしの文法ノート 初中級』の p.80~p.81 には初中級 9 課以前に出てきた文型で、意味が異なるものがまとめてあります。復習などに使うことができると思います。『わたしの文法ノート 初中級』の p80~81 (🌀部分) で、以前学習したものと L9 の学習項目の意味の違いを復習することができます。

学習項目 V ることになっています (予定)



『わたしの文法ノート 初中級』には「🍀」のコーナーがあります。このコーナーは、複数の用法がある学習項目を比較して、意味・用法の違いを整理するための練習問題です。【言ってみよう】が終わったあとやその ST の【言ってみよう】が終わったときに教室で一緒に意味を確認しながらすると、とてもいい復習になります。

言ってみよう

別冊 ⑥

こんなふうに

初級 6 課 ST1 の別冊 2 の練習にあるメモ帳のイラストを使って、「予定がある」ことがわかるように示して、練習をしました。イラストは他の課でも使えるので、ぜひぜひ活用してください！

3 (月)	友達の引っ越しを手伝う
4 (火)		⇒ 友達の引っ越しを手伝う ことになっています。
5 (水)	
6 (木)	インターネットの会社の人が来る
7 (金)	お客さんを空港まで迎えに行く
8 (土)	午後、荷物が届く
9 (日)	エアコンを修理してもらう

言ってみよう

本冊 ⑥


B さんの発話「～ことになっているんです」の「～んです」の意味がどういう意味か学習者に問いかけてください。もし忘れた人がいたら、3 課 ST2 の言ってみよう ③ (p51) を見て

もらい、「～んです」がどういう意味だったか、再度問いかけてください。忘れていたようだったら、「Bさんはどうしてがんばっていますか」「Bさんががんばっている理由は？」などと言って「～んです」は、「理由を説明（事情説明）」しているのだと思い出してもらってください。

クラスによっては、【チャレンジ！】のときに確認したかもしれませんね。もしまだでしたら、このタイミングで「～んです」の意味の確認ができるといいと思います。

やってみよう

ST2の「できること」は「スムーズに仕事ができるように、お互いに声をかけ合うことができる」です。

 ここでは、学習項目のところを聞き取るのではなく、女の人は今からどうするかを答えます。CDを聞いたあとで、教師が適宜、問いかけをしてください。②と③は友達言葉を用いた会話です。②の「お皿だけ洗っちゃうから」は「Vてしまう」の話し言葉です。これまでも【やってみよう】の会話では何度か出てきていますが、注意を促してあげてください。


■ 絵を見て、ペアで話します。ここでは、ABの1ターンのやり取りではなく、できるだけ長いやり取りを考えてみるように、学習者に勧めてください。きっとできると思います！

イラスト（2次元）なので、停止した状況しか示せていませんが、学生たちにはイラスト内の人物がその世界で動いて生きている動画だと考えて、イラストで見えている一瞬だけを短い会話で終わらせるのではなく、その状況でどんな会話がやり取りされるか楽しく想像しながら、会話を続けるように促してください。一つを例にしてクラス全体で一緒に長い会話を作ってみるのもいいですね。また教師がこんな会話もしているかもしれないですよと紹介してみるのもいいです。想像して長く会話が続けられると達成感があり、とても楽しいです。

できる！

この課の行動目標は、「集団の中で気持ちよく仕事ができるように、周りの人のことを考えながら、会話することができる」です。日々の生活の中で、もちろんこのことが実現できていたらいいのですが、もしうまくいっていない人がいたら、この課をきっかけにしてもらいたいと思います。以下、【できる！】の実践例をご紹介します。

【できる！】実践例

- ・それぞれのアルバイト先での経験をグループで話してから、誰かの実際の経験をシナリオにして発表する。
- ・クラスの学生たちそれぞれのアルバイト先からアイデアを出してもらって、ミックスして架空のアルバイトを先を設定して、架空のアルバイト先を設定し、クラス全体でシナリオを考える。
- ・教科書のイラストに自分たちでシナリオを考えて、発表する。
- ・アルバイト先で実践したりイベントのボランティアスタッフとして参加したりする。
(イーストウエスト日本語学校の学生たちの中には、中野区国際交流協会（ANIC）の「金曜ボランティア」というボランティアグループでイベントの企画や実施にメンバーとして参加するなどしています)
- ・『わたしの文法ノート 初中級』の第9課の「花」 (p84) を参考にして、「友達とパーティーの準備をしてパーティーをする」シナリオを作って発表する。(その際、「寮で」という設定を追加すると調理場や会議室の使用のルールについても会話ができます)

話読聞書

ここでのテーマは「いろいろなルール」です。【話読聞書】では、教科書の右側に書かれている吹き出しを用いて、学習者の話を引き出していきます。テーマをいきなり出すのではなく、アルバイトの話からそこで何をしなければならないかといったことを聞いていくなど、学習者が話しやすくなるように、教師が流れを作っていくのがいいと思います。アルバイトをしていない人もいるかもしれません。右側にある「学校や家などのルール」を話すように促すこともできます。学習者に話すことを促すだけでなく、教師の皆さんもぜひ紹介しましょう。(私は以前、家のトイレの蓋を閉めるというルールを紹介したことがあります)他の人の話を聞くと、そこからいろいろなことを思い出すことも多いようです。グループで聞き合うと、いろいろな質問が出てきて、学習者が話したいことが広がると思います。